



H.Yamanaka

サマースプリントシリーズ

THE HAKODATE SPRINT STAKES

第32回 函館スプリントステークス (GⅢ)

1着 2着 3着 4着 5着
本賞 41,000,000円 16,000,000円 10,000,000円 6,200,000円 4,100,000円
付加賞 567,000円 162,000円 81,000円



レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

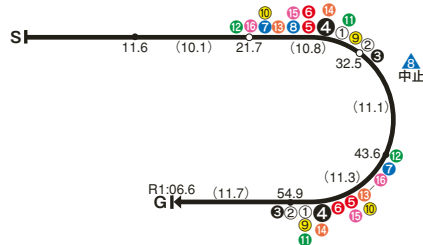
3歳以上、除未出走馬および未勝利馬

負担重量 3歳54%・4歳以上57%♂、牝馬2%減、2024.6.8以降GⅠ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬3%増、
牝馬限定GⅠ競走またはGⅡ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2%増、牝馬限定GⅡ競走またはGⅢ競走(牝
馬限定競走を除く)1着馬1%増、2024.6.7以前のGⅠ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2%増、牝馬限定G
Ⅰ競走またはGⅡ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1%増(ただし2歳時の成績を除く)

2025.6.14 函館 曇・良 芝1200m (国際) (特指)

着順	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り 600m (増減)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	④	カピリナ	牝	4	55	戸崎圭太	R1:06.6	6-6	33.4	474(+4)	6.2②	田島俊明(美浦)	106
2	①	ジュンブレア	牝	4	55	武 豊	ハナ	4-3	33.7	490(+6)	7.1③	武 英智(栗東)	105
3	⑤	ドンアミティエ	牡	5	57	丹内祐次	2	8-9	33.6	492(-4)	46.3⑩	今野貞一(栗東)	104
4	③	インビンシブルババ	牡	4	57	横山武史	ハナ	1-1	34.5	514(-6)	23.8⑦	伊藤大士(美浦)	104
5	⑪	ベアボルックス	牡	4	57	松若風馬	クビ	4-3	34.0	482(+6)	16.3⑤	梅田智之(栗東)	
6	②	カルチャーディ	牝	4	55	酒井 学	アタマ	2-2	34.4	432(+2)	12.3④	四位洋文(栗東)	
7	⑩	ジョーメッドヴィン	牡	4	57	横山和生	½	13-11	33.2	518(-2)	94.3⑫	清水久嗣(栗東)	
8	⑦	ナムラクレア	牝	6	57	C.ルメル	½	13-14	33.3	478(-2)	1.7①	長谷川浩大(栗東)	
9	⑨	モリノドリーム	牝	6	55	佐々木大輔	クビ	10-9	33.6	488(+2)	31.5⑧	鹿戸雄一(美浦)	
10	⑧	ブルバレイ	騾	6	57	岩田康誠	クビ	12-11	33.5	490(-4)	234.2⑬	須貝尚介(栗東)	
11	⑥	ウイングレイテスト	牡	8	58	松岡正海	アタマ	8-8	34.0	496(-20)	36.2⑨	畠山吉宏(美浦)	
12	⑬	ゾンニッヒ	牡	7	57	浜中 俊	ハナ	15-13	33.2	482(+6)	81.6⑪	池江泰寿(栗東)	
13	⑭	レイベリング	牡	5	57	吉田隼人	½	6-6	34.2	490(+4)	120.8⑫	鹿戸雄一(美浦)	
14	⑫	フィオライア	牡	4	55	小沢大仁	½	3-3	34.7	472(-2)	172.7⑬	西園正都(栗東)	
15	⑮	ステークホルダー	牡	5	57	藤岡佑介	½	16-15	33.2	462(-2)	116.8⑭	斎藤 誠(美浦)	
16	⑯	ミリアッドラヴ	牝	3	52	池添謙一	10-	10-	470(-)	16.4⑥		新台功一(栗東)	

単勝④620円(2%) 複勝④240円(2%) ①280円(3%) ⑤870円(10%) 枠連①-②1,070円(3%)
馬連①-④2,240円(8%) ワイド①-④720円(5%) ②-⑤2,810円(28%) ①-⑤3,240円(32%)
馬単①-④4,670円(16%) 3連複①-⑤22,950円(64%) 3連単④-①-⑤109,940円(288%)



通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m
32.5 - 43.6 - 54.9 44.9 - 34.1

アラカルト

- ・戸崎圭太騎手は函館スプリントS初勝利。JRA重賞は本年5勝目、通算82勝目
- ・田島俊明調教師は函館スプリントS初勝利。JRA重賞はレイハリアで制した21年キーンランドCに続く通算5勝目
- ・ダンカーク産駒はJRA重賞初勝利
- ・4歳馬の勝利は23年キミワクインに続く通算10回目
- ・勝ちタイム1:06.6は17年の本競走でジュヌエコールが記録した1:06.8を0秒2更新するコースレコード
- ・ミリアッドラヴは競走中に疾病(急性心不全)を発症し、4コーナー手前で騎手が落馬したため競走中止
- ・非当選馬 1頭(クファシル)
- ・非抽選馬 1頭(ツインクルトース)

カピリナ Ka Pilina

牝 芦毛 2021.4.25生

北海道新ひだか町 谷岡牧場生産

馬主・榊ヒダカ・ブリーダーズ・ユニオン 美浦・田島俊明厩舎

馬名意味・フラダンスの曲名。人と人との絆を意味する。姉レイハリアより連想

サイクラスUSA系 F13-c

ダンカークUSA Dunkirk 芦毛 2006	Unbridled's Song 芦毛 1993	Unbridled Trolley Song
	Secret Status 栗毛 1997	A.P.Indy Private Status
ライトリーチューン 鹿毛 2013	マンハッタンカフェ 青鹿毛 1998	サンデーサイレンスUSA サトルチェンジIRE
	リーインフォースト 鹿毛 1998	トニービンIRE ティアラ

5代までのインブリードなし

INTERVIEW

谷岡康成 社長(谷岡牧場)

よく勝ってくれたと思います

いい枠を引いたので期待はしていましたが、よく勝ってくれたと思います。母ライトリーチューンの産駒は大人しい馬が多いのですが、カピリナも癖がなく素直な性格で、好馬体で脚元もきれいな馬でした。この後はスプリンターズSが大きな目標になります。今回レコードタイムで勝てたことで、速い時計の出やすい中山でもいい結果を残してくれると期待しています。

H.Kawai



ダンカーク産駒の本馬は2歳暮れのデビューからしばらくダートでキャリアを重ね、安定した成績を残したが、昨年7月、芝の短距離戦へ先を向けたのをきっかけに躍進。スプリント重賞を2勝したレイハリアの半妹にあたる血筋を開花させ、暮れに2、3勝クラス特別を連勝してオープン入りを果たした。4歳を迎えた今年は重賞初挑戦のシルクロードS4着、続く愛知杯も3着と好走を重ね、この日はコース及びレースレコードを塗り替えて初の勲章を獲得。一戦ごとに力をつけている印象だけに今後も目が離せない。

ダンカーク産駒の本馬は2歳暮れのデビューからしばらくダートでキャリアを重ね、安定した成績を残したが、昨年7月、芝の短距離戦へ先を向けたのをきっかけに躍進。スプリント重賞を2勝したレイハリアの半妹にあたる血筋を開花させ、暮れに2、3勝クラス特別を連勝してオープン入りを果たした。4歳を迎えた今年は重賞初挑戦のシルクロードS4着、続く愛知杯も3着と好走を重ね、この日はコース及びレースレコードを塗り替えて初の勲章を獲得。一戦ごとに力をつけている印象だけに今後も目が離せない。

父ダンカークUSA

北米5戦2勝(ベルモントS^{G1}2着、フロリダダービー^{G1}2着)、10年から米、智、日で供用、24年用途変更

〔代表産駒〕**レイトーン** Leitone(エルダービー・智^{G1}、チリ2000ギニー^{G1}、チリセントレジャー^{G1}2着)、**エルレイブリランテ** El Rey Brillante(タンテオデボトリリョス・智^{G1})、**ハヴァナ** Havana(シャンペンS・米^{G1})、**カピリナ**(本馬)、**ダンキンベンド** Dunkin Bend(サブリングS・米^{G3})、**フェイヴァリット** Favorite(ビーニヤデルマル市賞・智^{G3})、**アイズジャイアント**(JBC2歳優駿^{IⅢ})、**ダンツアトリス** Danzatrice(アイオワディスタフS・米L)、**メイショウテンスイ**(ジュライS・L)

母ライトリーチューン

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央5戦0勝

レイハリア(18 牝父ロードカナロア)中央18戦4勝(キーンランドC^{GⅢ}、葵S

〈重賞〉、雪うさぎ賞)

キモンヤマブキ(19 牡父パドトロワ)中央1戦0勝

リュウノマサムネ(20 牡父レッドファルクス)中央4戦0勝、地方14戦4勝

カピリナ 本馬(21 牝父ダンカークUSA)中央12戦5勝(函館スプリントS^{GⅢ}、

南総S、清津峡特別、愛知杯^{GⅢ}3着)獲得総賞金119,352,000円

レイアロハ(22 牝父タワオプロンドン)中央1戦0勝 ⑩

(23 牡父ドレフォンUSA)

(24 前年種付せず)

(25 牝父タイトルホルダー)

祖母リーインフォースト

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央0勝。13年用途変更

カネトシツヨシオー(03 牡父タヤスツヨシ)中央6勝(福島テレビオープン^O、

ゴールデンホイップトロフィー、京橋特別、太宰府特別、京都金杯^{GⅢ}3着)

ビエネヴェーレ(04 牝父サクラバクシンオー)中央1勝

バウンシーチューン(08 牝父ステイゴールド)中央2勝(フローラS^{GⅡ})、パ

ウンシーステップ ⑩(豊橋S、つわぶき賞)の母

ライトリーチューン(13 前出)

曾祖母ティアラ

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央3勝(カーネーションC^O、牝馬東京タ

イムズ杯^{GⅢ}2着、ラジオたんぱ賞^{GⅢ}3着)、07年死亡

リーインフォースト(98 前出)

レコードタイムで初の勲章を獲得

大詰めを迎えた上半期のGIシリーズの一方、北海道では函館開催が開幕。今年はその初日に組まれた函館スプリントSに3年前の覇者ナムラクレアが参戦し、断然の実績を誇る6歳牝馬が圧倒的な支持を集めた。しかし8着に敗れた同馬を尻目に、熾烈な追い比べを繰り広げたのは、打倒候補の双璧と目されていた2頭の4歳牝馬。このうち2番人気のカピリナが接戦に競り勝ち、重賞初制覇を果たした。

ダートで実績を積み上げてきたインビンシブルババがキャリア初の芝コースにも高い適性を示し、軽快なダッシュで飛び出して先手を奪取。2、3勝クラス特別を連勝中の新星、3番人気

に支持されたジュンブレアは4番手につけ、カピリナの戸崎圭太騎手はその2馬身ほど後ろ、6番手のインで折り合いに専念する。一方、スタート直後に他馬と接触し、後方に控えたナムラクレアはレースの流れに乗れず、反撃の糸口をなかなか掴めなかった。

前半600位の通過が32秒5と水準以上に速いラップを刻んで逃げたインビンシブルババは、直線に向くと好位勢を突き放して押し切りをはかったが、残り200以地点を過ぎてさすがに失速。外へ持ち出して加速にかかったジュンブレアと、内々を立ち回り、馬群を捌いて追い込んだカピリナが一気に逃げ馬を呑み込む。鼻面を並べてゴールに飛び込んだ両馬。約5秒という僅差で決着した接戦の軍配はカピリナにあがった。

ダンカーク産駒の本馬は2歳暮れのデビューからしばらくダートでキャリアを重ね、安定した成績を残したが、昨年7月、芝の短距離戦へ先を向けたのをきっかけに躍進。スプリント重賞を2勝したレイハリアの半妹にあたる血筋を開花させ、暮れに2、3勝クラス特別を連勝してオープン入りを果たした。4歳を迎えた今年は重賞初挑戦のシルクロードS4着、続く愛知杯も3着と好走を重ね、この日はコース及びレースレコードを塗り替えて初の勲章を獲得。一戦ごとに力をつけている印象だけに今後も目が離せない。